

第8回 逗子海水浴場の運営に関する検討会 概要

日時：平成30年11月6日（火）

14時30分～16時30分

場所：逗子市役所5階 第3会議室

1 開会

事務局より、逗子海水浴場の運営に関する検討会（以下「検討会」という。）は傍聴できることと、報道機関の頭撮りについて説明。今回は平成30年度における検討会報告書を作成するため、課題を整理し、条例等ルールや振興策などの来年度に向けた議論をする旨の説明。

2 議題

(1) 来年度に向けた課題の整理

・新宿自治会から資料「平成30年度海水浴場騒音等環境調査結果報告」を用いて、海水浴場の調査結果等の報告が行われた。海岸組合に対しての指摘事項については、以下のとおり海岸組合から回答があった。

A) 解体期間を過ぎた後に、海の家の方電盤や電線ケーブルが砂浜に放置されていた。
→海を家の電源盤等の機器は、電気工事業者が一括して管理を行っており、回収についてもお願いしていた。しかし、9月に立て続けに台風が接近したことにより、台風関連の復旧業務等が集中してしまい、結果的に機器の回収が遅れてしまうことになってしまった。

B) 海の家関係者と思われる者の、タトゥーの露出が見受けられた。
→砂浜をパトロールしていた際は、海を家の音等に重点を置いて巡回していた。今後は入れ墨・タトゥーの露出についても特に注意して巡回を行う。また、事前に海を家の出店者に対して行う説明会においても、入れ墨・タトゥーの露出については禁止であるというのを改めて強く説明していく。

・前回の検討会でも出された意見を整理した資料「平成30年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書に記載する項目について」を用いて、出席者から検討会報告書に追記すべき事項を聞き取った。内容は次のとおり。

1 条例・規則・ルールについて

(1) 利用者

① 海水浴場の風紀

<今回の提案・意見>

- 海岸東側は来場者が多い日に雰囲気好ましくない時があり、ウォータープークを利用するファミリー層が来るエリアでもあるので、雰囲気の改善に努めて欲しい。
- 警備員の活躍は評価されるべきものであるため、来年度も市は予算を減らすことなく、できれば強化をして風紀が乱れないように維持して欲しい。
- 夏の間だけ臨時の派出所を設けることはできないか。
- 今年度においても、警察官立寄所が開設され、警察官による定期的なパトロールが行われた。有事には対応できる体制にあり、効果的に対応してくれていた。

<前回の提案・意見>

- 大きな事故なく無事に終えることができたので、風紀の維持を来年もお願いしたい。
- シンボルロードを見たところ客層が変わってきていて、海水浴場が良い方向に向かっていると感じる。
- 来場者は増えているが、細かいルールについても徹底して守られていると感じた。
- あり方検討会の時代は、パトロールやごみ拾いに行く際、気を引き締めて取り組まなくてはならなかったが、今年は海を楽しみながら取り組むことができた。
- 「日本一規制が厳しい海水浴場」から「日本一安全な海水浴場」になってきていると感じた。
- 逗子の魅力を発信していくためにも、継続して風紀の維持に努めて欲しい。
- 来場者は増えているが反比例的に犯罪は減っていて、条例等ルールの効果が現れていると感じる。
- 海岸組合の様々な取組が実を結び、安心できる状況を作ることができていると思う。
- 市の財政状況が厳しい中で、条例施行後5年間で最高の人出となり、注意件数は増えているものの、多くの関係者の協力があり、安全・安心の維持がされていて、ファミリービーチとしての認識が定着してきていると感じる。
- 地元の人や子どもが遊びにくることが増えてきて、そのような状況が当たり前になってきていると感じる。
- 子どもが何度も遊びにいけるくらい安全な海になったので、気を緩めず来年も継続して欲しい。
- 海の近くに住んでいるが、落ち着いた海水浴場になってきていると感じる。
- 水難事故がおこることもなく、海を安全に楽しんでもらうための子ども用ライフジャケット、ランディーズの無料貸出が定着してきたように感じている。
- 海岸組合による主体的な砂浜の管理が実を結んでおり、海水浴場の雰囲気が良い方向に変わってきていることは来場者も実感していると思う。
- 36万人もの来場者があったのにも関わらずトラブルがなかったことは、大きなことだと感じ

る。

- 注意件数は増加したと報告されているが、マリンパトロールに参加した際は注意をする回数が少なかったため、日によって海の雰囲気にもラがあると感じた。

② ルールを守らない利用者

<今回の提案・意見>

- ルール違反の注意を行う警備員が警察官でないと分かると、態度が大きくなる来場者もいた。
- 地道な取組ではあるが、ルール違反者に対して警備員が注意書の手渡しをすることは評価されるものであり、来年度も強化・継続をお願いしたい。
- ルール違反者に向けて、逗子海水浴場は「日本一厳しい条例」のもと運営されているという趣旨の文言が書かれた横断幕の掲示を街中に行うべきである。

<前回の提案・意見>

- 海に来るまでルールを知らずに来場したことによって、ルール違反をしたまま居座る来場者がいるため、事前周知には力をいれていかななくてはならない。
- 複数回注意を受ける来場者に対しては、引き続き注意を行わなくてはならない。
- ルールを守らない人が居辛い雰囲気を感じている姿が見受けられた。
- 電車で来る来場者向けに、鉄道会社に協力を呼びかけてルールの禁止をアナウンスしてもらう等の事前周知を行ってはどうか。
- 報告書にも記載があり、現場でも感じるのだが、ルールを守らない外国人、複数回注意を受ける来場者が増えてきているため、対策やアイデアを考えていきたい。

③ 入れ墨・タトゥーの露出

<今回の提案・意見>

- 海の家においても、入れ墨・タトゥーの露出をしている客に対して、注意をするだけでなくタトゥーを隠すことのできるものを渡してはどうか。
- 今年度は入れ墨・タトゥーの露出をしている来場者が目立ったので、来年は情報発信を工夫し、周知の強化を行って欲しい。
- 入れ墨・タトゥーの露出の対策を行うには、警備員の人件費等、費用がかかってしまうため、オリパラ・ラグビーワールドカップへ向けて、国や県が日本の文化として広く発信してもらいたい。

<前回の提案・意見>

- 外国人や若い世代からは、文化・ファッションとして認識されている傾向が高いため、ルールへの理解が必要である。

④ 外国人

<今回の提案・意見>

- 小型のスピーカーを使用する外国人が増えてきている印象があり、スピーカーの周りで踊っている外国人の姿を多く見かけた。
- 同一人物が複数の項目のルール違反をするという悪質なケースも見受けられ、特にそのような外国人に注意をすることは難しいと感じる。
- 言葉の壁が、外国人にルールを守ってもらうことを難しくしている。
- 中国、台湾等のアジア圏の外国人は、あまり問題を起こさない印象を受けた。
- 注意をしてもルール違反を止めない外国人は、意図が伝わっていないのではないかと。なぜ逗子海岸では禁止されているのか、背景も伝えて理解してもらえるようなアプローチをしてもいいのではないかと。
- 違反を続けるようであれば、逗子海岸から出て行って欲しいというメッセージをこめた分かりやすい注意書きを渡す等、強めの注意を行ってもいいかもしれない。
- 米軍関係者でルール違反をする者もいたため、市の担当課を通して、米軍にルールの遵守を徹底して欲しいという申し入れを行うべきだと思う。
- ルール違反をしても罰則がないということを知っている外国人に対して対策を行わなくてはならない。
- 英語圏ではない外国人も増えてきているため、印刷物での対応言語を増やすのではなく、翻訳デバイスを用いて注意を行う等、違う角度からの対策を行ってもいいかもしれない。
- 結局のところ粘り強く注意を続けていくしかない。
- 事前にどこまで伝えることができるかが重要ではないかと。例えば、電車にポスターを貼る等、オリパラを見据えて日本の文化を伝え、ルールもしっかりと伝えることができるか。

<前回の提案・意見>

- 1度注意しても言うことを聞かない外国人が増えている。

⑤ 水上オートバイ

<今回の提案・意見>

- 音についてはだいぶ改善されたが、逗子を訪れる水上オートバイの台数は増えており、海上でSUP、ウィンドサーフィンを楽しんでいる方に影響が出ていた。
- 今年度から横須賀海上保安部の取締りが強化されたが、取締りを行っていない時は、水上オートバイ利用者のマナーがひどい状況になってしまっている。
- 監視員、海岸組合ボート部の人達が日々パトロールを行い、水上オートバイの違反者

を監視しているからこそ今の状況を維持できているのであり、他市町で水上オートバイによる事故が起こっている例もあるため、引き続き気を引き締めて対応していかなくてはならない。

- 水上オートバイの海の上での話は海水浴場とは直接関係ないため、この検討会で議論すべきことかどうか疑問であり、別の会議でもいいのではないかと思う。

<前回の提案・意見>

- 水上オートバイの騒音について真摯に対応してくれたこともあり、近隣マンションからは音が小さくなったという声があげられた。
- 水上オートバイの騒音は全く気にならないレベルにまで軽減されていると感じる。
- 昨年問題となった、田越川河口付近から水上オートバイの積み下ろしをしているという話は聞かなかった。

⑥ ごみ

<今回の提案・意見>

- 新宿地区のごみステーションへのカラスによる被害も昨年度と比べて激減されていた。
- 街中にはポイ捨てがまだ見受けられる。

<前回の提案・意見>

- 海の家から出たごみについて、軒先に置く際はビニールシートで覆うことが徹底されていたため、カラスの鳴き声等の被害は昨年度と比べても軽減されていた。
- 海岸組合による夜間パトロール、清掃のおかげで街中が綺麗になったと感じる。
- 田越川河口の両端に砂が堆積し、ごみも捨てられており印象が悪いので、浚渫を行った後、土砂をそのままにしないで欲しい。
- 街中のごみ拾いを海岸組合が行っているが、地域に住んでいる人達にもこの取組が広がって欲しいと思う。

(2) 海の家

① 営業時間

<今回の提案・意見>

- 閉店状況は概ね遵守されているものと思われる。
- 日没が遅い期間については、営業時間を少し長くしてもいいのではないか。
- 現状の 20 時の閉店時間のルールでは、閉店時間に近い時間帯に入店した遠方からの来場者にゆっくり過ごしてもらえず心苦しい。

- 閉店時間は延ばさずに、営業時間を 21 時としてはどうか。20 時には CLOSE 表示を出して、退店を 21 時にするもの。
- 仮に閉店時間を延ばすとしても、新規で入ってきた店を含めた全体の店を海岸組合で管理することは難しいと思う。
- 営業時間の変更を提案するのであれば、分かりやすい提案を行い議論するべきで、はっきりしない形でルール変更すると、取締る側も判断が難しくなってしまう。

＜前回の提案・意見＞

- 閉店時間を 20 時に変更して 2 年目の夏となったが、トラブルはなかった。

② 海の家音楽・イベント

＜今回の提案・意見＞

- 独自に海を家の BGM の調査を行ったが、関係者による真摯な対応もあり、近隣の住環境に悪影響を及ぼさない水準まで改善されているので、来年度以降もこの状態の継続をお願いしたい。
- 海を家の営業に関するルールで、クラブ化、ライブハウス化、音楽イベントの禁止については、来年度も継続をして、騒音問題が発生していない今の状態を維持して欲しい。

＜前回の提案・意見＞

- 海を家の敷地内で、利用者が楽器を演奏していたことについて、海岸組合内でルールを決めて注意を行って欲しいと思う。
- 海を家の音楽による近隣住民への影響はなく、海岸組合の管理が行き届いていると感じる。
- 海岸組合の努力により、ウォーターパークが集客の目玉、核となり、ファミリービーチの象徴となっていた。
- ウォーターパークは好評だったと聞いていて、海岸組合の無料券配布についてもよかったと思う。
- ウォーターパークはその色合いもよく、子どもが楽しんでいる姿を見ることができてよかった。
- 西浜で行われていたバンジージャンプのアトラクションもよかったと思う。

③ チェックリスト・イエローカード等ルール認識

＜今回の提案・意見＞

- 海を家の営業に関するルールとして定められている事項については、改めて従業員に広く周知徹底を行って欲しい。

＜前回の提案・意見＞

- 2年連続でイエローカードの発行がなかったことから、海岸組合のガバナンスがきいていると感じる。

(2) 逗子海水浴場の振興について

- ・時間の都合上、議論を行えなかったため次回の検討会にて議論する。

(3) その他

- ・事務局から今後の予定について次のとおり説明した。
- 次回は12月中旬に開催し、本日いただいた提案・意見等を反映させた報告書案を示し、引き続き報告書案について議論していただく。

以上